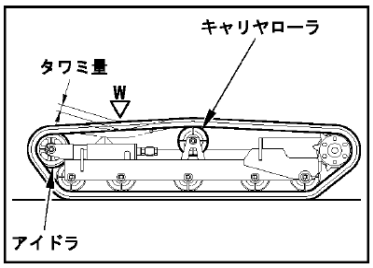
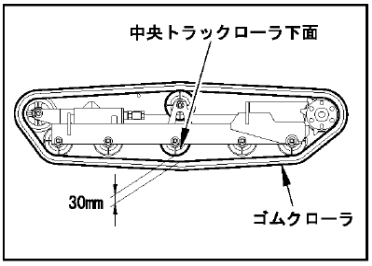
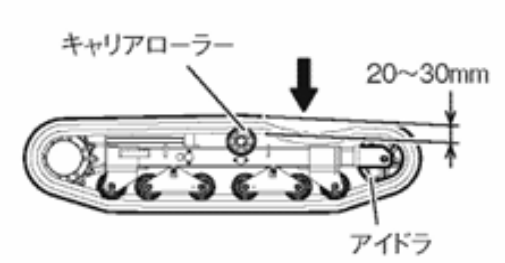
メーカー名：ヤンマー建機㈱　　令和8年度（公社）建設荷役車両安全技術協会　不整地運搬車

適用範囲		モデル名		C12R-C
		適用号機		2C001～
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体 【非電子制御式】	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	 min^{-1} min^{-1} (℃) (℃)	 2960±40 1050±100 （60以上） （50~60）
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	 mm mm (℃)	 0.2±0.05 0.2±0.05 （常温）
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差 MPaとkgf/cm2の両方で表記 (冷却水温) (回転速度)	MPa kg/cm2 (℃) (rpm)	2.9 30 － 300
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴 射開始圧力	MPa kg/cm2	11.96~12.74 122~130
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張 り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg) N	10~15 ファンプーリー～オルタネーター―プーリー 98N 10kg
動力伝達装置	クラッチ 駆動用ベルト	クラッチの遊び 駆動ベルトの張り	mm たわみ量 mm	5~10 － 10
	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	mm mm mm	5~10 － 5~10 260 260~300
走行装置 (別名クローラーベルト)	走行性能	最高速度　ゴム	秒/６m	3.9
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト　張り (たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	20~30 1-1
走行装置 (ホイール式に限る)	タイヤ空気圧　タイヤ （ホイールを含む）	フロント	kPa (kgf/cm^2)	－ －
		リヤ	kPa (kgf/cm^2)	－ －
制動装置	走行ブレーキ	ペダルの遊び	mm	90mm以下
		踏み残り代	mm	100(操作荷重25kgf時)
		制動能力 [制動初速度]	m以内 km/h	1.5 5.5
	駐車ブレーキ	停止可能勾配 [負荷状態]		30度 定格積車時
油圧装置	シリンダ自然伸縮 (自然沈下量)	ダンプシリンダ 作業装置姿勢 (測定時間) (作動油温)	mm min (℃)	5 縮み量 5 （50~60）
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等)	MPa kgf/cm2 	27.4 280 ハイアイドル －

メーカー名：ヤンマー建機㈱

項目	測定方法
1-1 【C12R-C】	・平坦地で車両を２～３回前後進の後、後進で走行し、ゴムクローラのタワミを上部に集めた状態にする。 ・アイドラとキャリヤローラの中央部に体重（約60Kg）を乗せ、ゴムクローラのタワミが20～30mmあれば標準となる。 ・上記要領以外にも、ゴムクローラの片側を地面より浮かせて、中央トラッククローラ下面と、ゴムクローラ間のスキマが、30mm程度になっているか点検する。  
2-1 【C30R-3】	・平坦地で車両を２～３回前後進させた後、後進で走行し、ゴムクローラのタワミを上部に集めた状態にする。 ※エンジン停止 ・アイドラとキャリヤローラの中央部に体重（約60Kg）を乗せ、ゴムクローラのタワミが20～30mmあれば標準となる。 
3-1 【C50R-5B】	・平坦地で車両を２～３回前後進させた後、後進で走行し、ゴムクローラのタワミを上部に集めた状態にする。 ※エンジン停止 ・キャリアローラを中心にスプロケット側、およびアイドラ側にまっすぐな棒をのせ、タワミ Ⓐ Ⓑが5～15mmあれば標準となる。 